

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

【商品相談窓口】

☎ 0120-813-331

【受付時間】平日8:30~17:00

【休日】土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

TIB-S TLB-S TSB-S



101 02224 03587 9

引き分け戸、3枚引き違い戸 4枚引き違い戸 専用枠材

レールタイプ

ドレタス 調整枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

- ・調整用戸車・レール等は消耗性部品。
引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお薦めします。
- ・躯体接合金具の調整範囲は、縦枠最大11mm、上枠最大9mm。
調整可能範囲を越える場合は枠材がはずれる原因となり危険ですので、調整範囲を満たすように下地材などを入れてください。
- ・補強の飼木(現場調達)を入れる。
ソフトクローズ仕様の際は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆お手入れのしかた

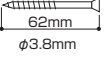
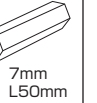
枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

■ 梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

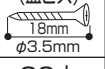
枠本体セット							
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)
入 数	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本	—
	3枚引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	2本
	4枚引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	1本
	備 考 (部材品番等)	—	—	—	—	—	—

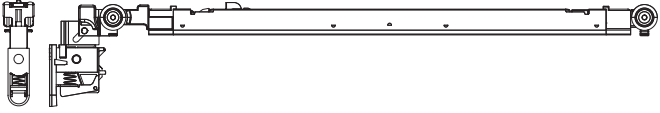
別梱包		敷居埋め込みの場合		床直付けレールの場合		
部材名		敷居		敷居		
入 数	引き分け戸	本体1本	レール1本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス13本
	3枚引き違い戸	本体1本	レール3本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス20本
	4枚引き違い戸	本体1本	レール2本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス27本
	備 考 (部材品番等)	—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
袋の色		赤	赤	赤	黄	黄	透明	透明
部材名		木ダボ	組み立て ビス	下枠 固定ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ	躯体接合穴 キャップ
セット品番		 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16	 φ10
入 数	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
	3枚引き違い戸	ZYMS01-□	2本	4本	11本	11本	1本	8個
	4枚引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	備 考 (部材品番等)	—	—	床直付けレール の場合は 使用しません。	枠と躯体の 固定に 使用できます。	—	—	—

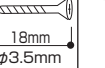
別梱包			
部材名		ケーシングセット	
入 数	引き分け戸	縦用4本	横用2本
	3枚引き違い戸	縦用4本	横用2本
	4枚引き違い戸	縦用4本	横用2本
	備 考 (部材品番等)	—	—

金具セット【標準:片側ソフトクローズ】							
部材名		上部ガイド 跳ね上げ抑制無し	上レール 取り付けビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	下荷重扉 ストッパー
セット品番			 18mm φ3.5mm				
入 数	引き分け戸	ZYSLS	2	12本	2	2	1
	3枚引き違い戸	ZYSSS	3	30本	3	3	1
	備 考(部材品番等)	ZYNGN21	ZYTA01	ZYNCS21	ZYNTG21	ZYTNC01	ZYNTS21

4枚引き違い戸金具セット【標準:両側ソフトクローズ】							
部材名		上部ガイド 跳ね上げ 抑制あり	上レール 取り付けビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	下荷重扉 ストッパー
セット品番			 18mm φ3.5mm				
入 数	4枚引き違い戸	ZYSIW	4	36本	4	8	2
	備 考(部材品番等)	ZYNGA21	ZYTA01	ZYNCSW21	ZYNTG21	ZYTNC01	ZYNTS21



※両側ソフトクローズにしたい場合は下記セットをご発注ください。

金具セット【オプション:両側ソフトクローズ】							
部材名		上部ガイド 跳ね上げ 抑制あり	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	下荷重扉 ストッパー
セット品番			 18mm φ3.5mm				
入 数	引き分け戸	ZYSLW	2	12本	2	4	2
	3枚引き違い戸	ZYSSW	3	30本	3	6	2
	備 考(部材品番等)	ZYNGA21	ZYTA01	ZYNCSW21	ZYNTG21	ZYTNC01	ZYNTS21

両側ソフトクローズ
引き分け戸 施工
9ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
3枚引き違い戸 施工
15ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
4枚引き違い戸 施工
21ページに進んでください。

引き分け戸 施工…4ページに進んでください。

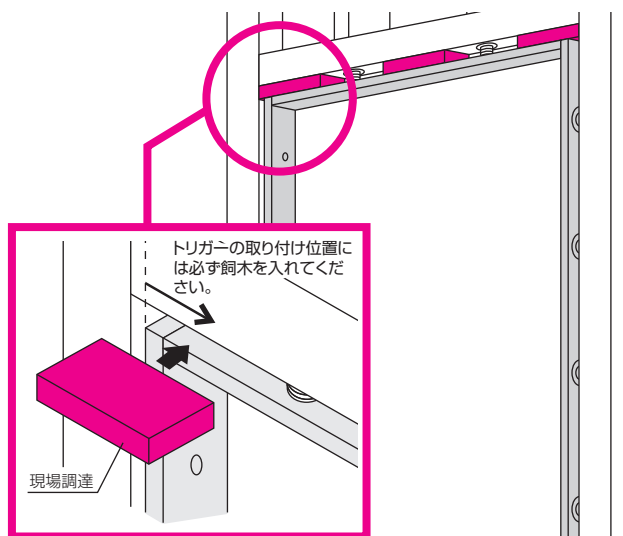
3枚引き違い戸 施工…10ページに進んでください。

4枚引き違い戸 施工…16ページに進んでください。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木（現場調達）を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

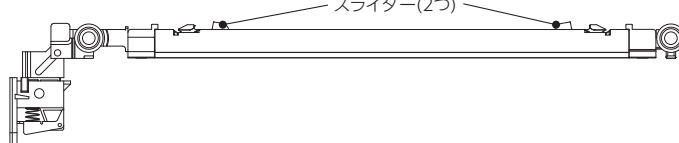


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

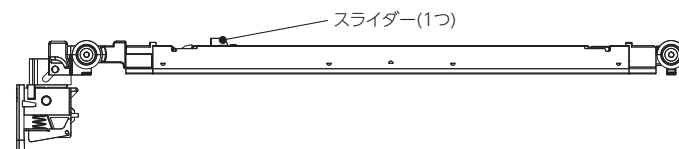
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けください。

正常状態

両利きタイプ



片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

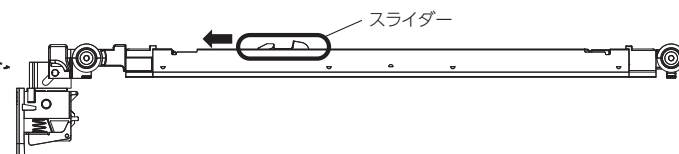
「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。

両利きタイプ



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

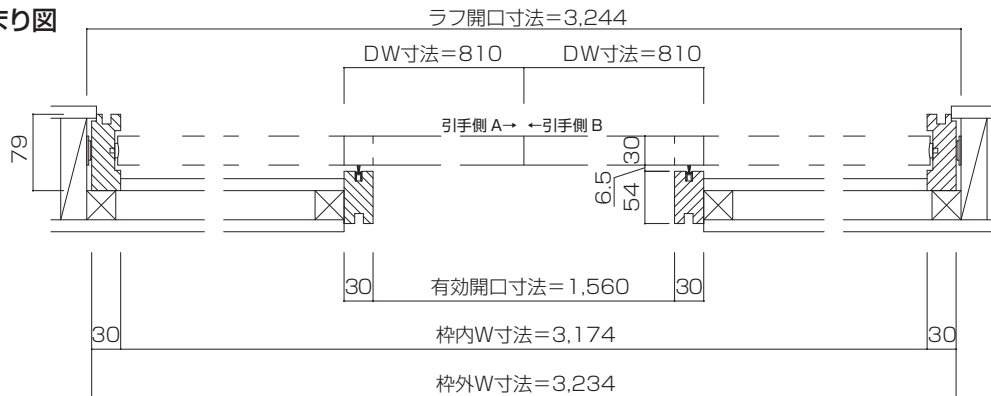
【引き分け戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

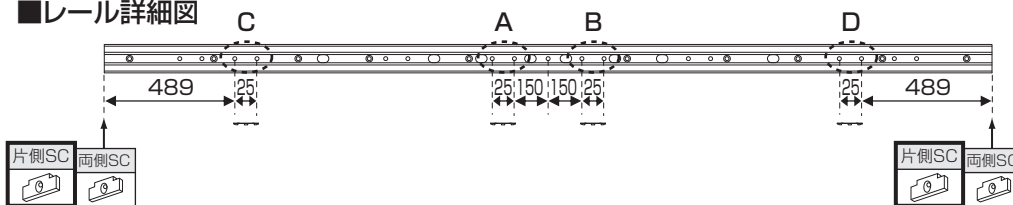
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

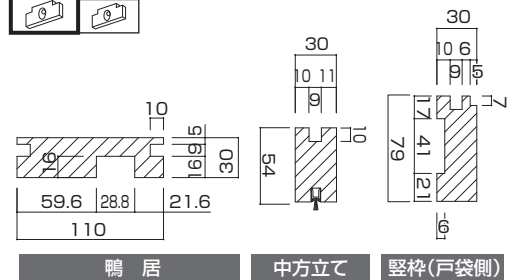


■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

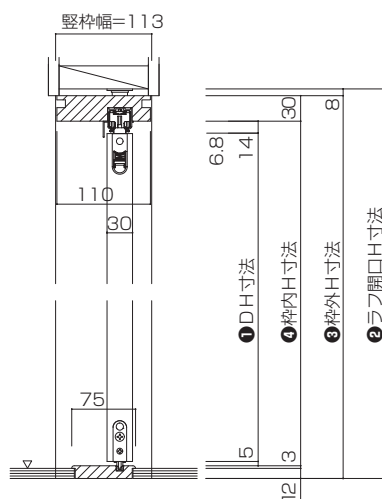


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

敷居埋め込みの場合

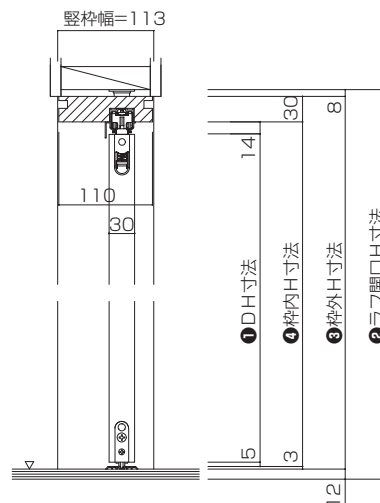
(単位:mm)



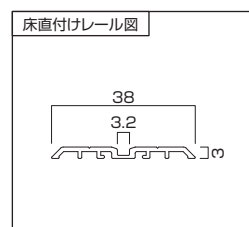
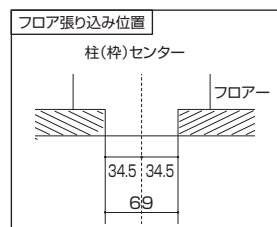
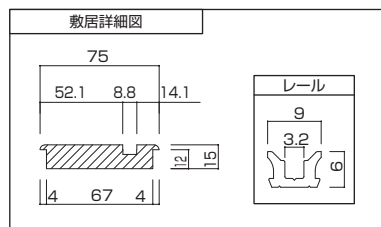
製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
① DH寸法	1,983	2,183
② ラフ開口寸法	2,055	2,255
③ 枠外H寸法	2,047	2,247
④ 枠内H寸法	2,002	2,202

床直付けレールの場合

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
① DH寸法	1,983	2,183
② ラフ開口寸法	2,055	2,255
③ 枠外H寸法	2,035	2,235
④ 枠内H寸法	2,002	2,202

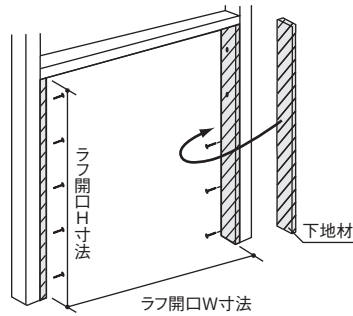


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

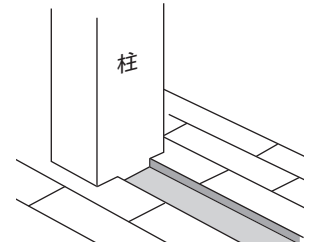
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



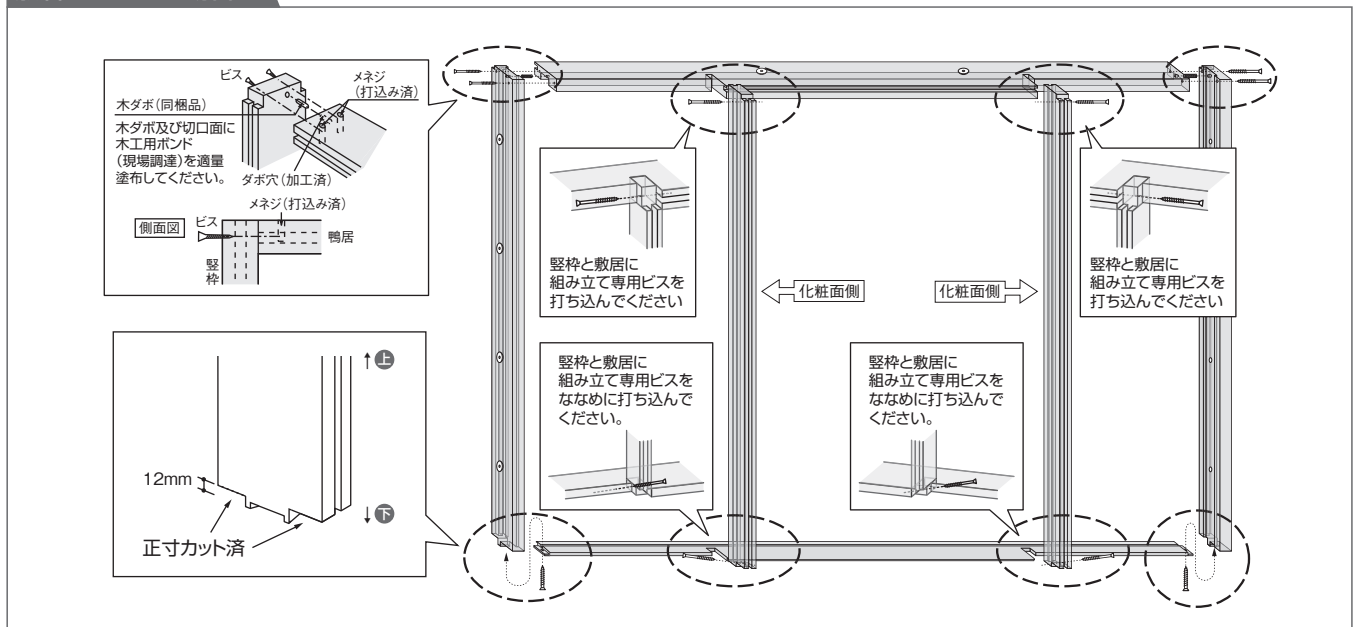
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

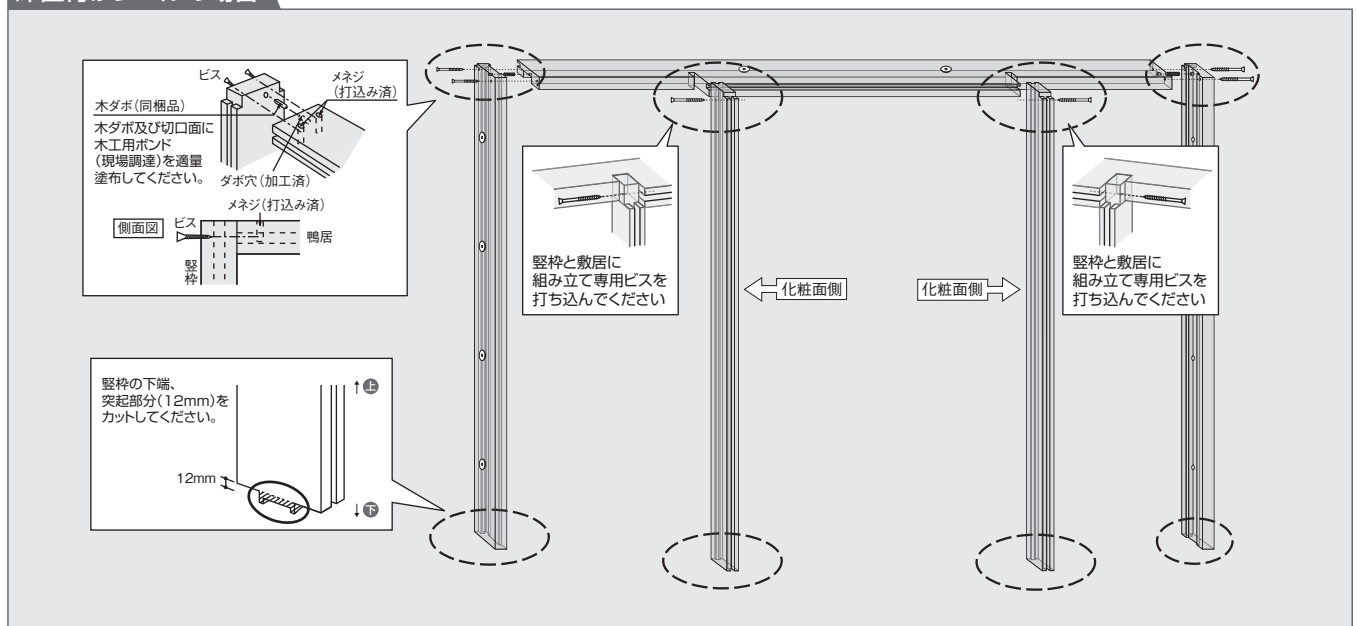
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、竖枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

金具は枠材に装着済み

躯体接合金具調整穴
ミニレンチ(同梱品)
時計回りに廻してください
インパクトドライバー(現場調達)

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

縦枠表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。
(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)

躯体接合金具用ビス(同梱品)

注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

飼木(現場調達)

注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

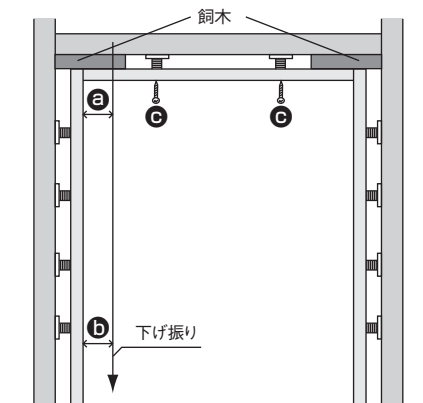
5 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよ確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。

調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。



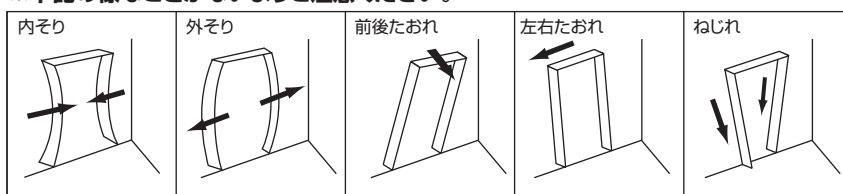
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

枠を外側に出す場合

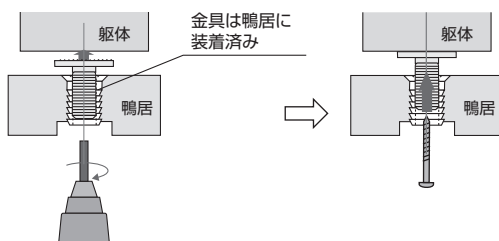
反時計回り(左回り)で調整

※下記の様なことがないようにご注意ください。



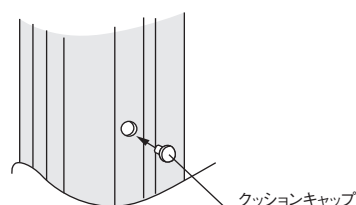
② aは建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。

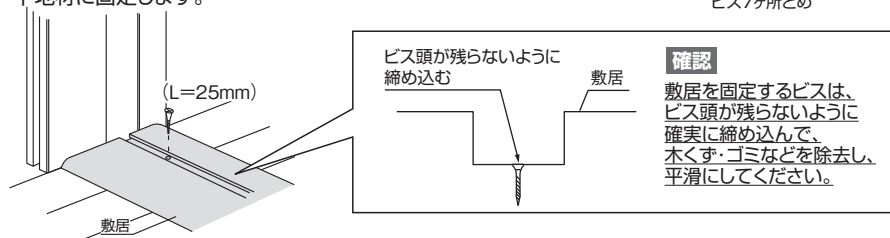


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

①敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



⚠ 注意

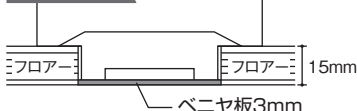
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

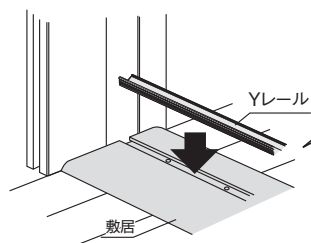
12mmの場合



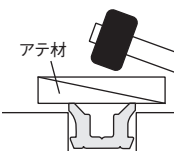
15mmの場合



②レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



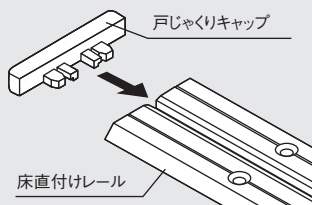
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

①戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

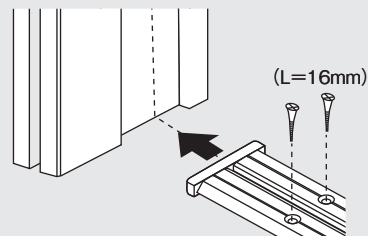


②床直付けレール取り付け位置の確認

縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。

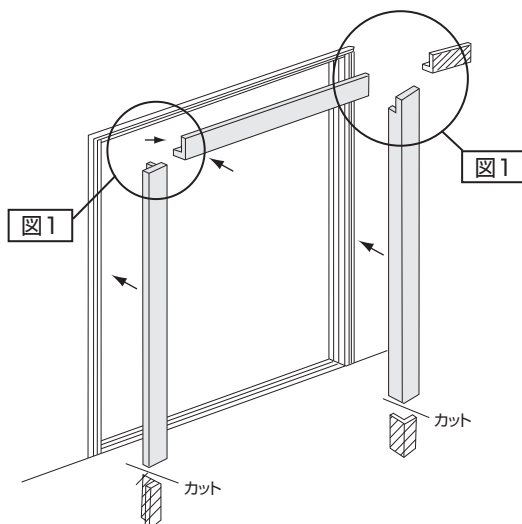
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

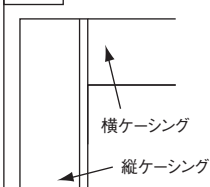
7 ケーシングの取り付け

■ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

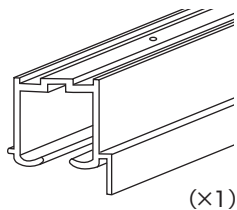


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。

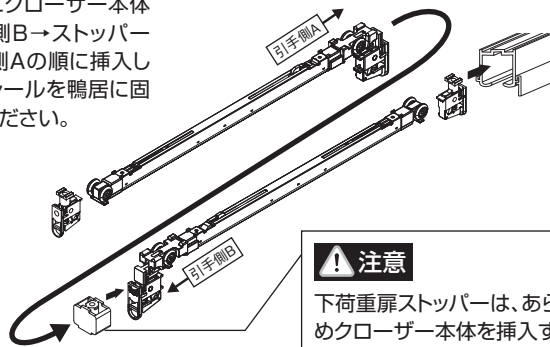


(×1)

片側ソフトクローズ 仕様 標準

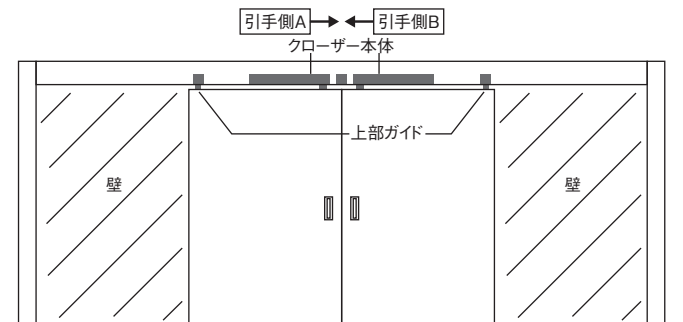
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

レールにクローザー本体の引手側B→ストッパー→引手側Aの順に挿入してからレールを鴨居に固定してください。



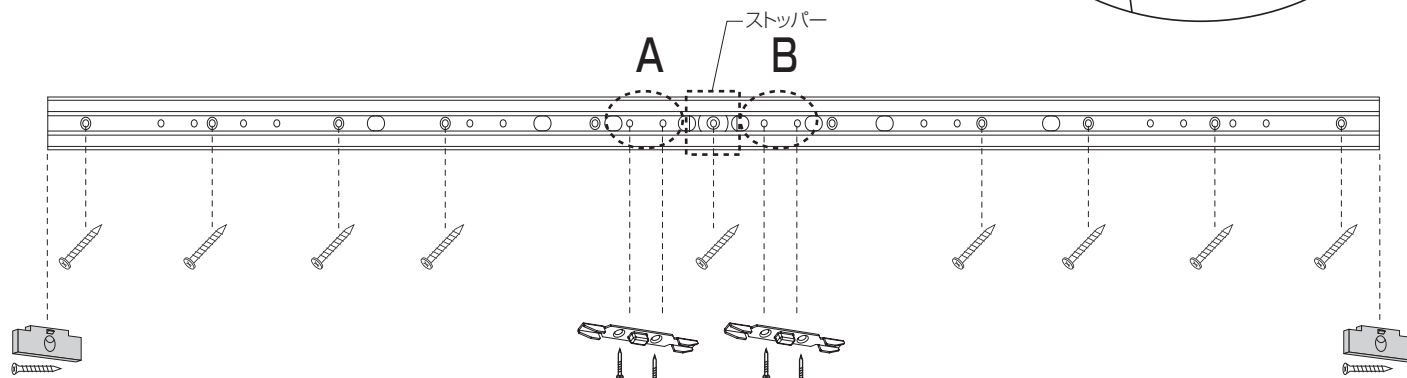
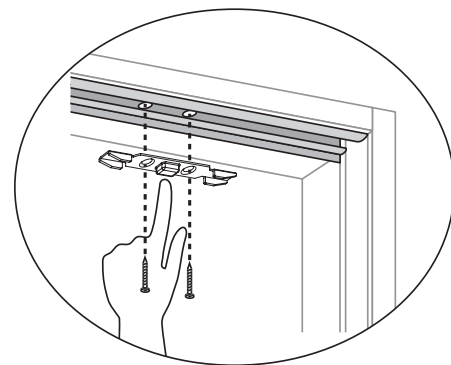
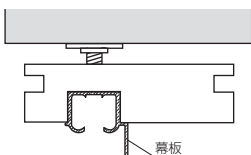
⚠ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

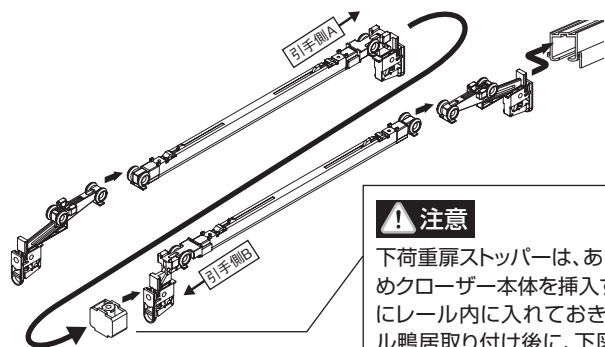
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

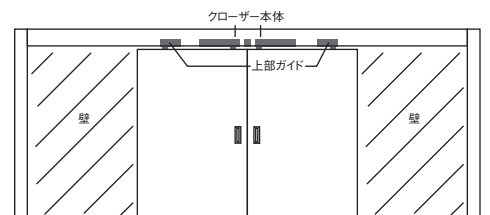
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

レールにクローザー本体の引手側B→ストッパー→引手側Aの順に挿入してからレールを鴨居に固定してください。



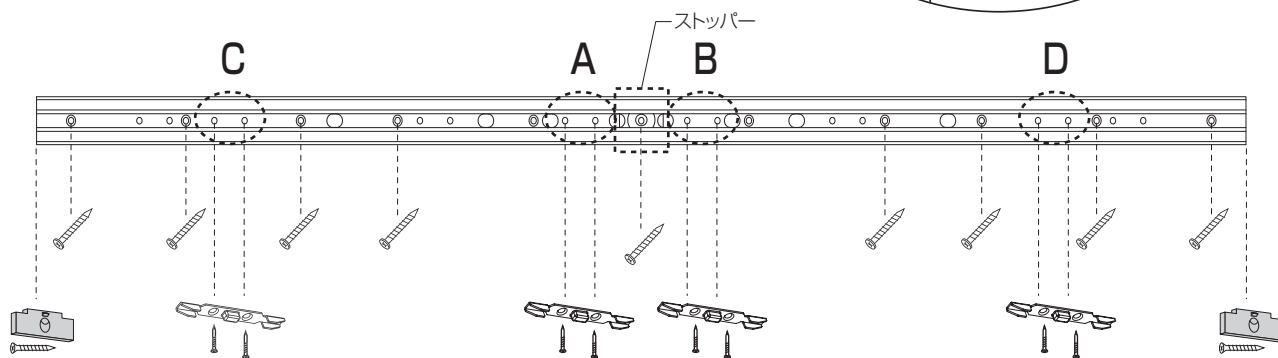
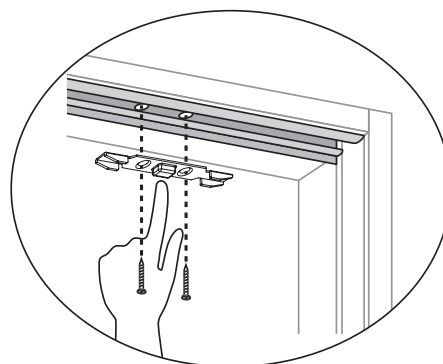
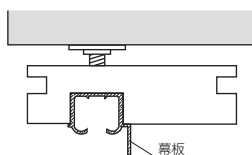
⚠ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

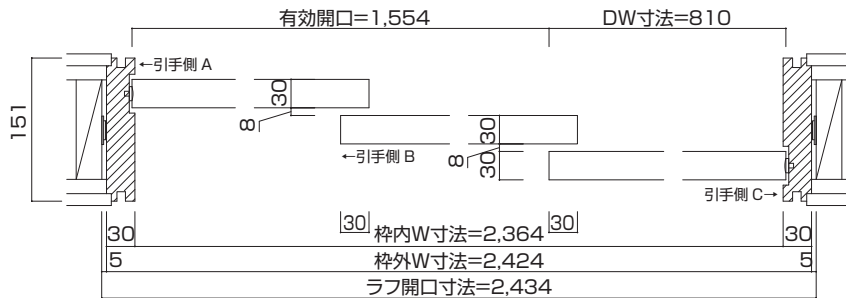
【3枚引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

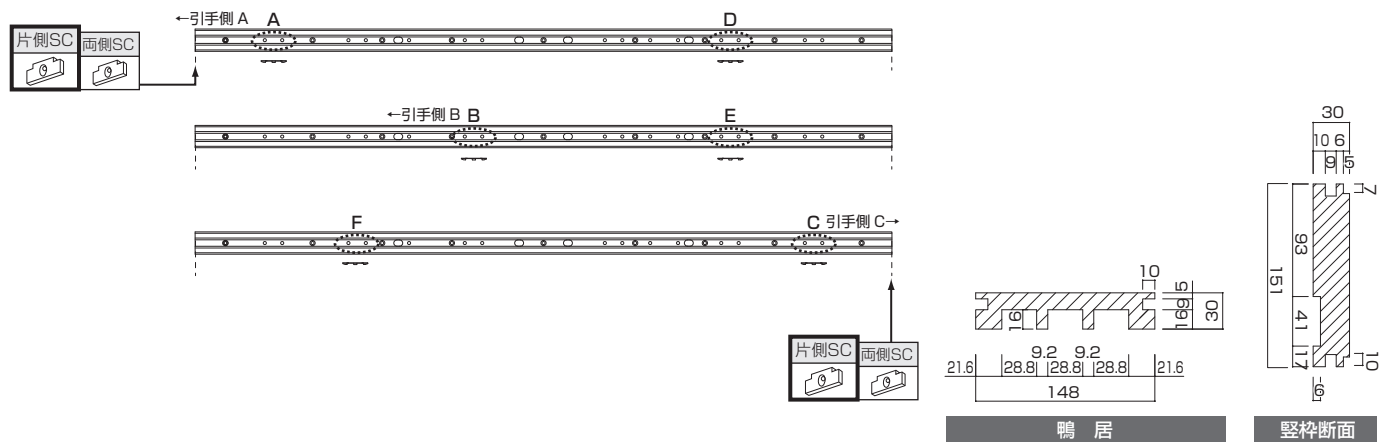


■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B・C
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D・E・F

上記レール詳細図を確認し、
トリガー、ストッパーなどの
取り付け位置をご確認ください。

■レール詳細図

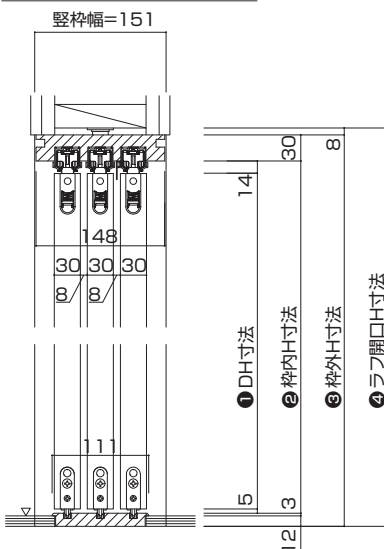


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

敷居埋め込みの場合

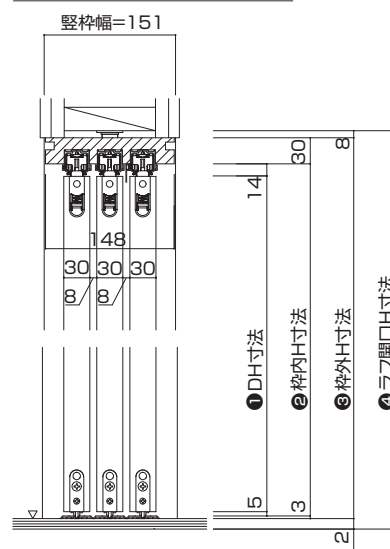
(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
① DH寸法	1,983	2,183
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ 枠外H寸法	2,047	2,247
④ ラフ開口寸法	2,055	2,255

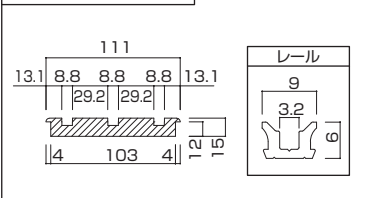
床直付けレールの場合

(単位:mm)

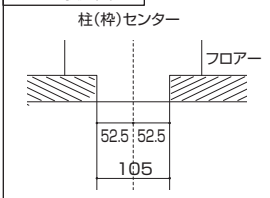


製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
① DH寸法	1,983	2,183
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ 枠外H寸法	2,035	2,235
④ ラフ開口寸法	2,055	2,255

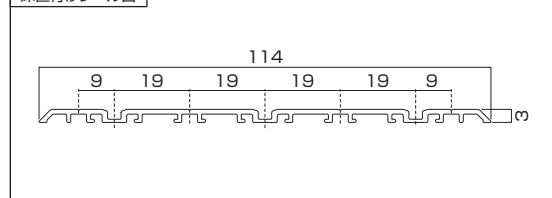
敷居(突板タイプ)加工図



フロア張込位置



床直付けレール図

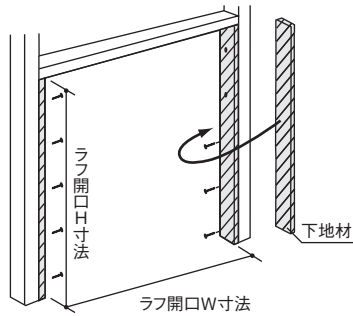


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

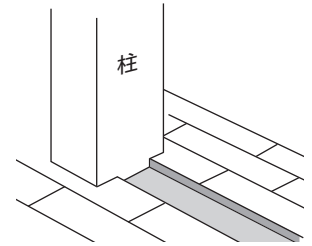
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



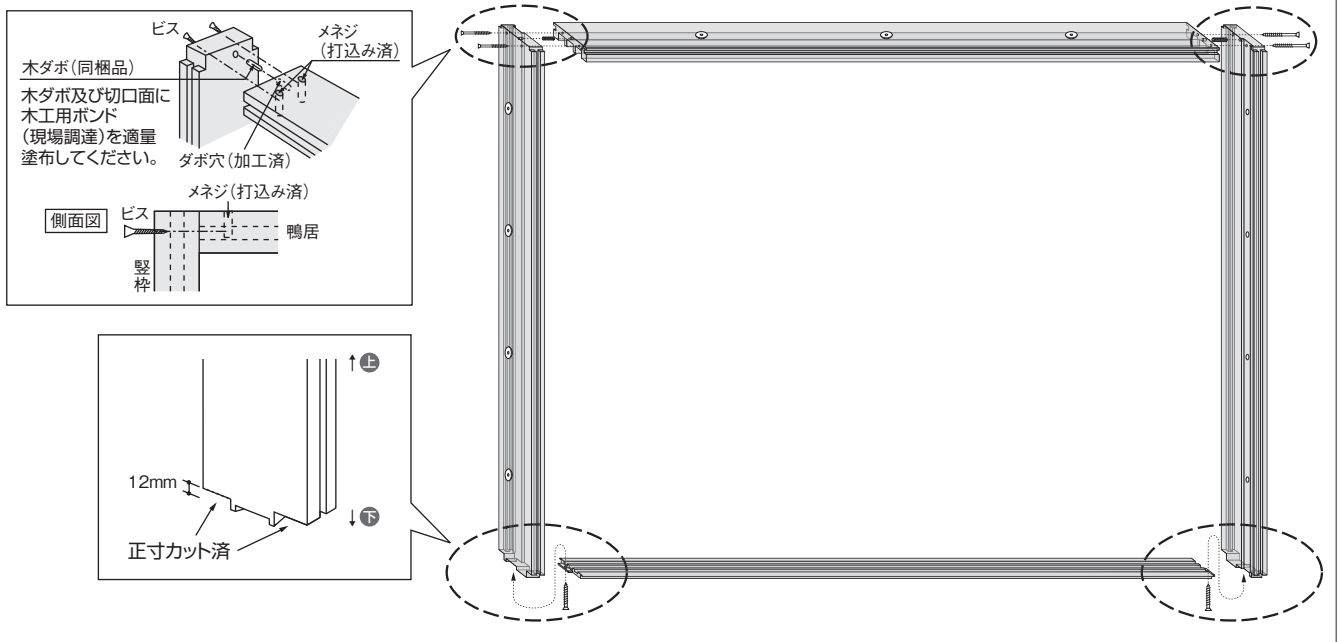
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

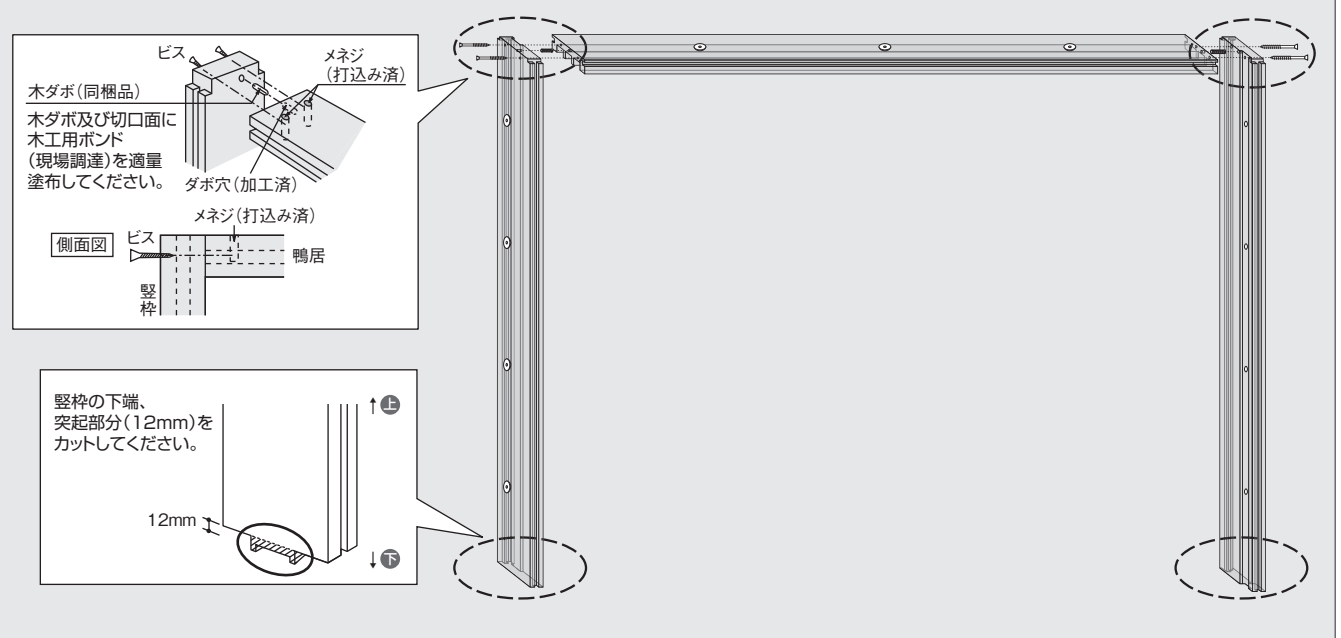
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



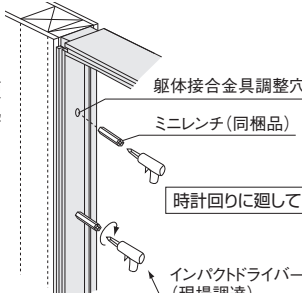
4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

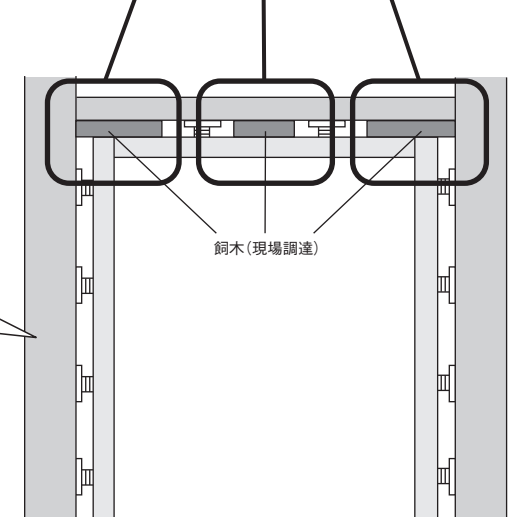


同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

注意 インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

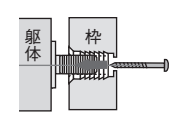
注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

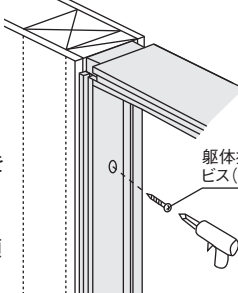


② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



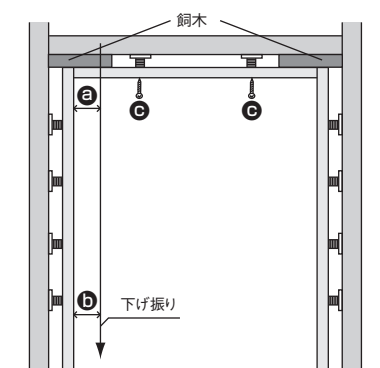
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。
(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



5 建て付け調整と鴨居の本固定

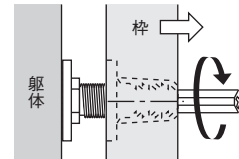
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a=b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



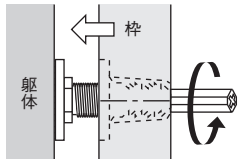
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

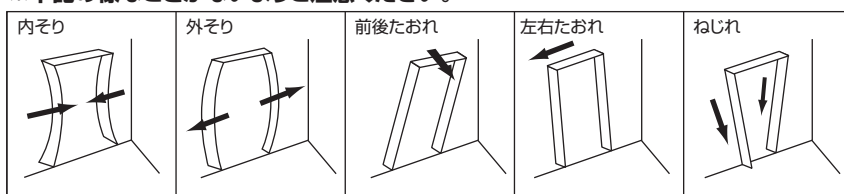


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

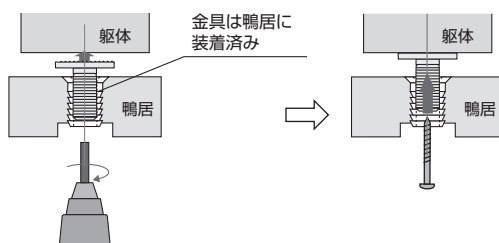


※下記の様なことがないようにご注意ください。

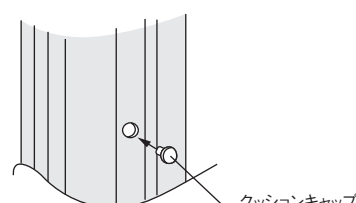


② **●**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

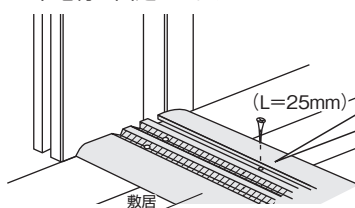


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス頭が残らないように
締め込む



確認

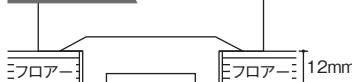
敷居を固定するビスは、
ビス頭が残らないように
確実に締め込んで、
木くず・ゴミなどを除去し、
平滑にしてください。

注意

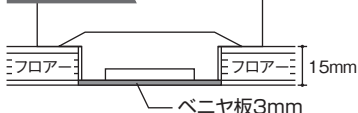
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フローアの厚みは12mmを基準にしています。
15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

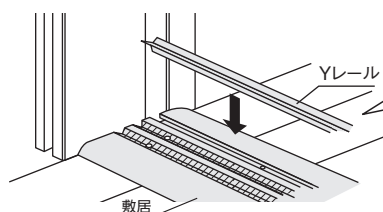
12mmの場合



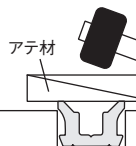
15mmの場合



② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には
必ずアテ材などを使用して、
ゴムハンマーでたたき込んで
ください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



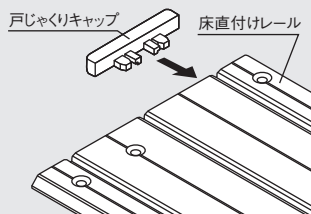
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

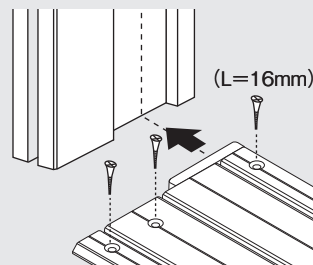


② 床直付けレール取り付け位置の確認

戸じゃくりキャップ部分が、縦枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていないと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。

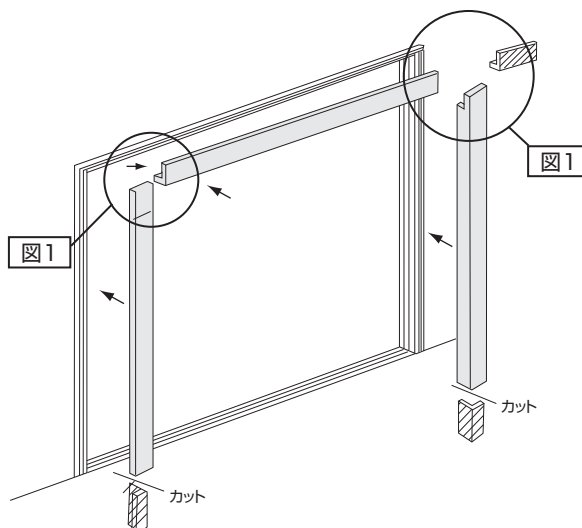
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

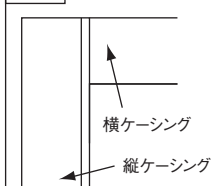
7 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。
寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

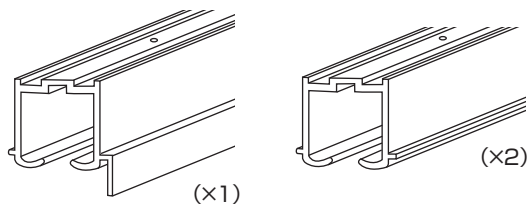


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

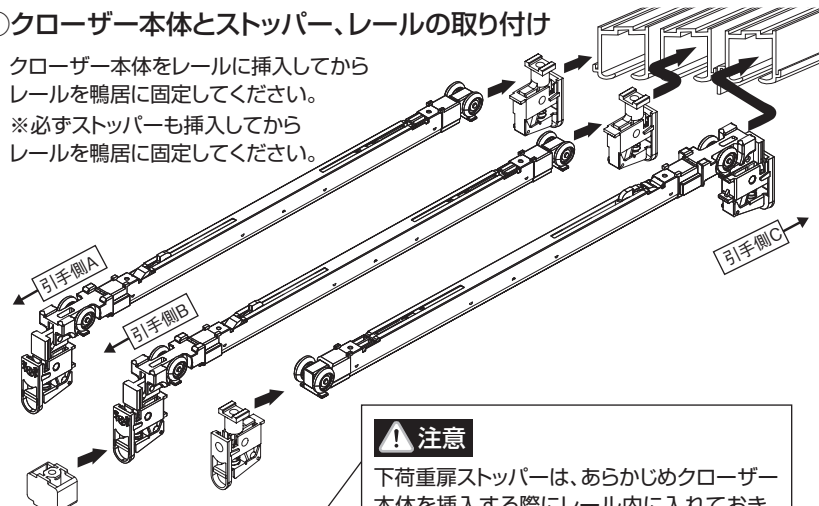
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

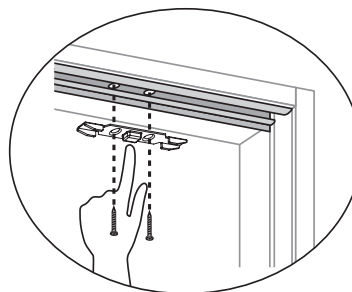
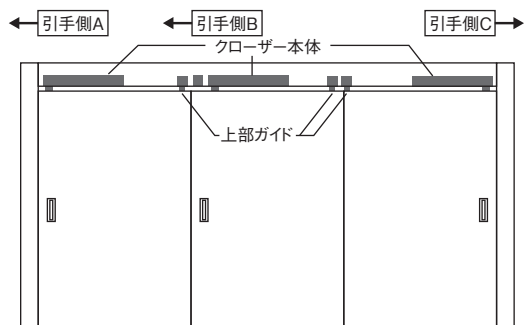
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。
※必ずストッパーも挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



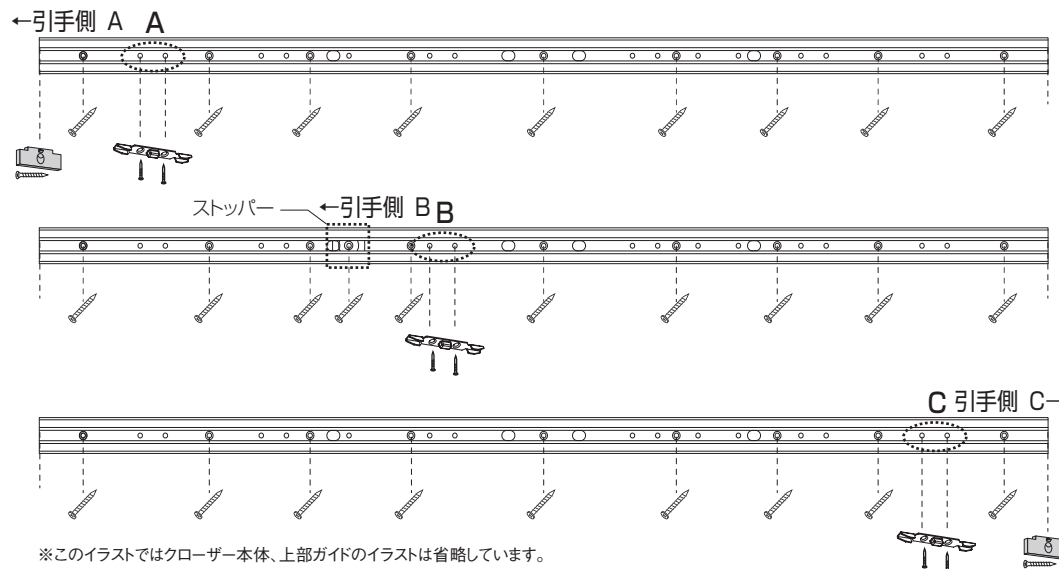
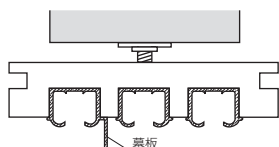
⚠ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー
本体を挿入する際にレール内に入れておき、
レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビス
にて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて取り付け
てください。幕板は1本のレ
ールにしかつきません。

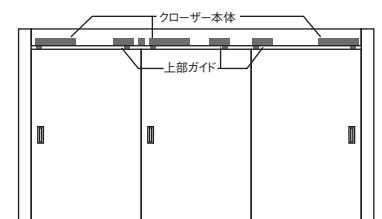
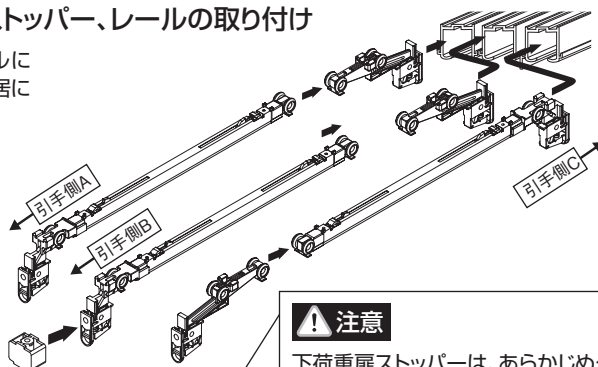


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

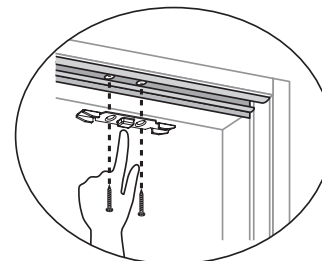
クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

※必ずストッパーも挿入してからレールを鴨居に固定してください。



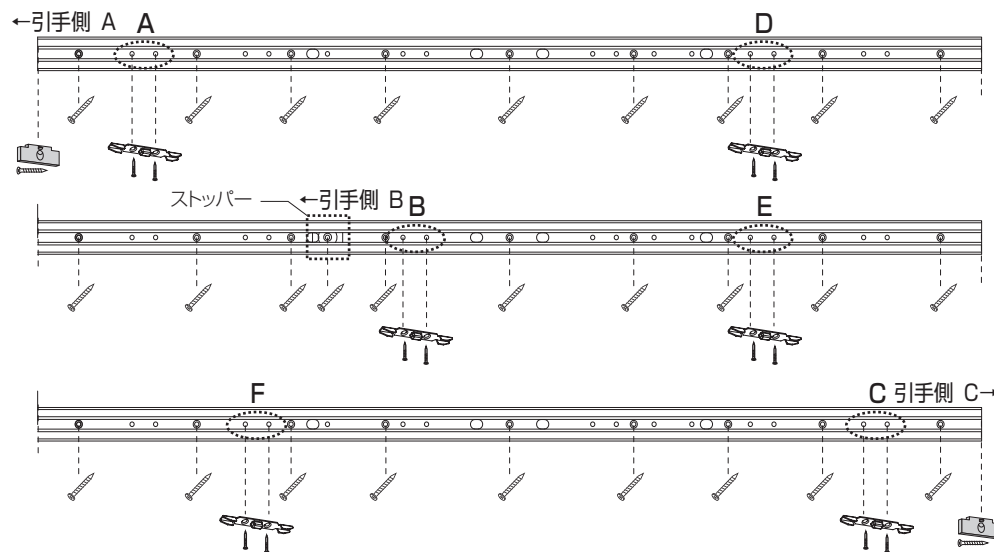
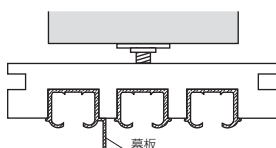
注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。幕板は1本のレールにしかつきません。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

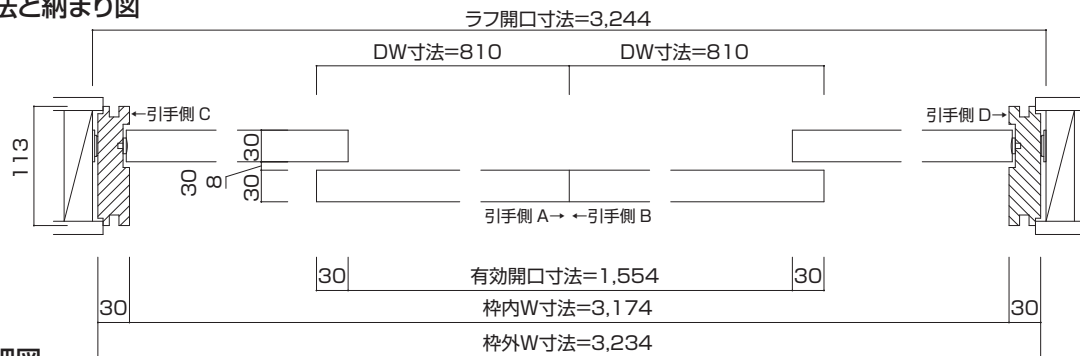
【4枚引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

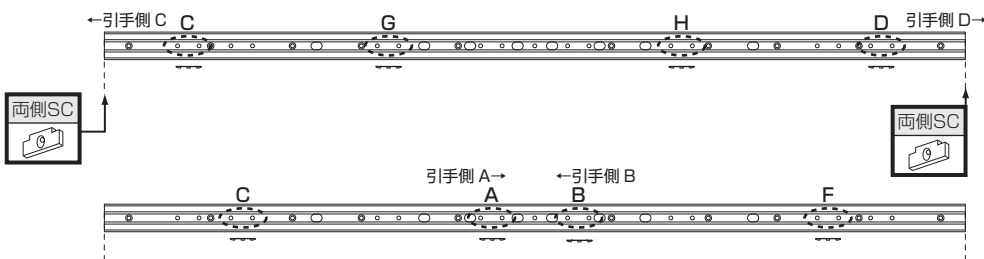
横断面図

(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図

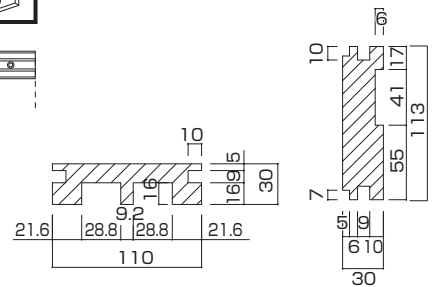


■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D E・F・G・H
-------------	--------------------



※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

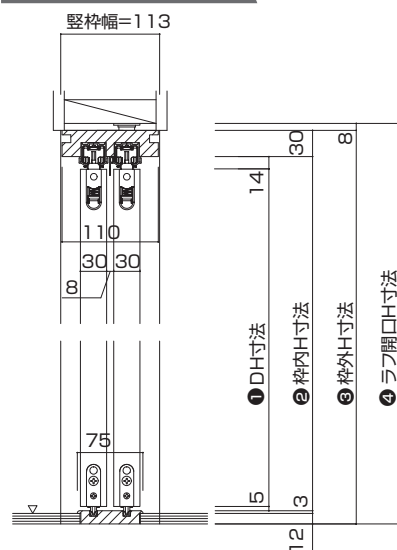
鴨居

縦枠

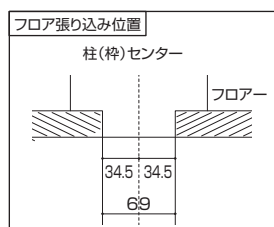
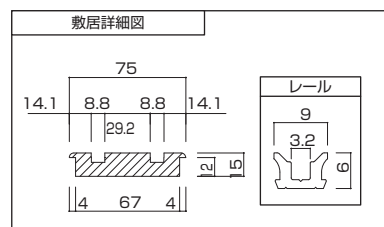
縦断面図

敷居埋め込みの場合

(単位:mm)

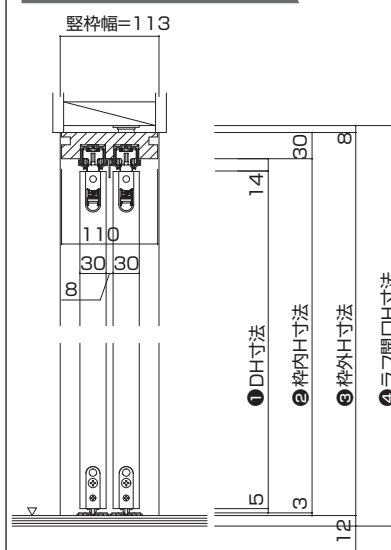


製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
①DH寸法	1,983	2,183
②枠内H寸法	2,002	2,202
③枠外H寸法	2,047	2,247
④ラフ開口寸法	2,055	2,255

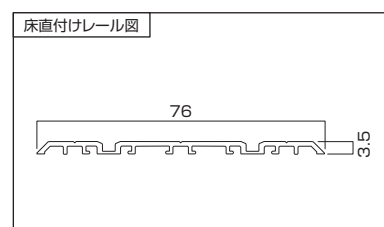


床直付けレールの場合

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
①DH寸法	1,983	2,183
②枠内H寸法	2,002	2,202
③枠外H寸法	2,035	2,235
④ラフ開口寸法	2,055	2,255

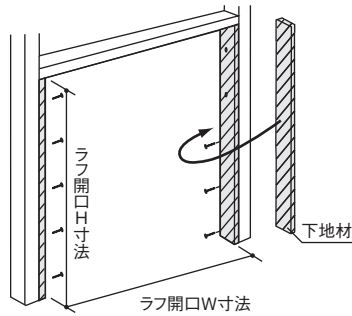


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

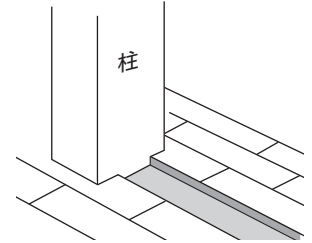
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



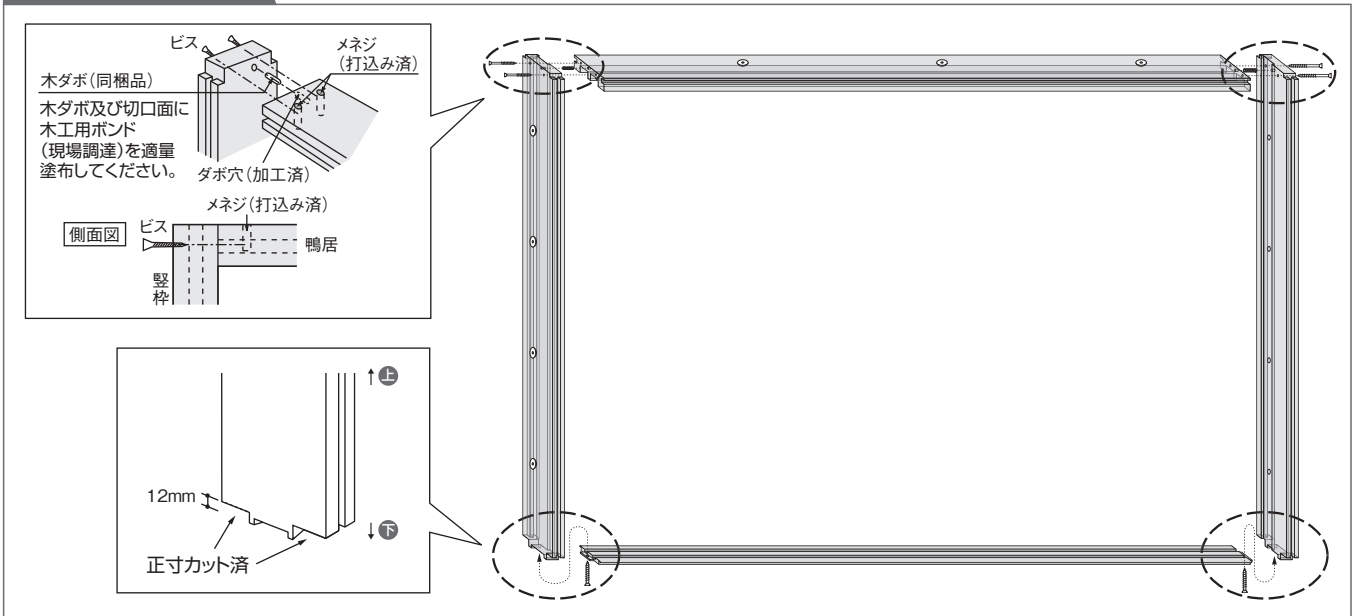
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

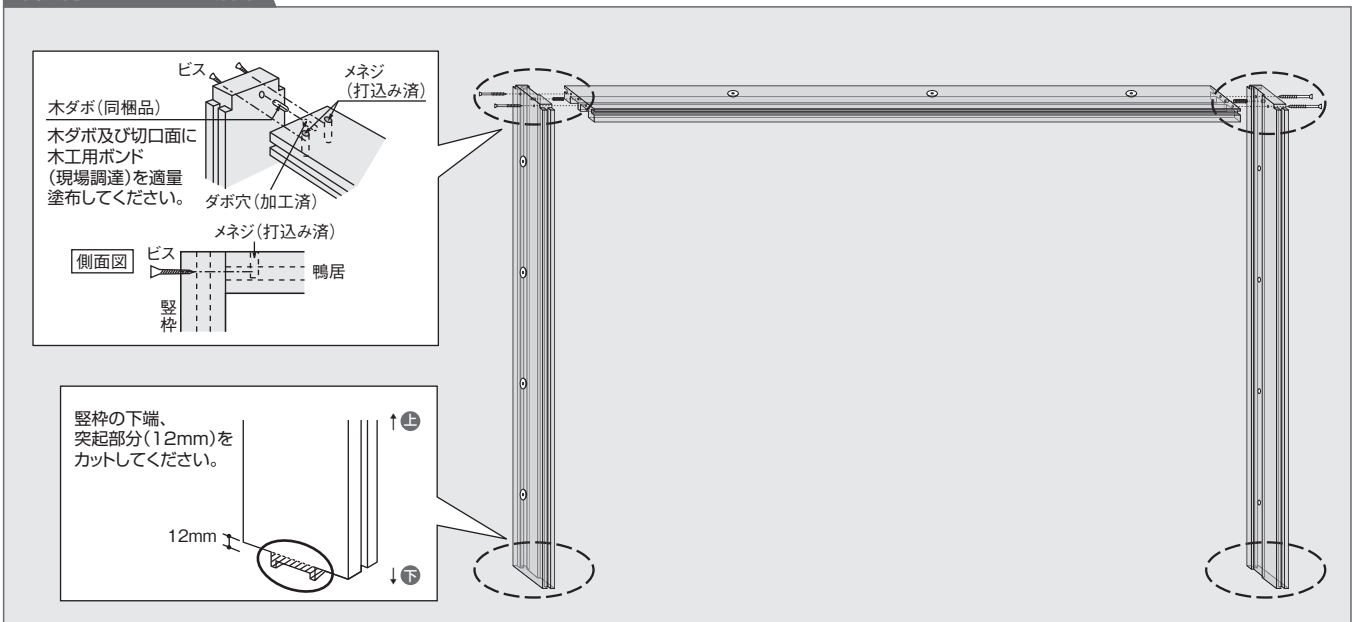
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



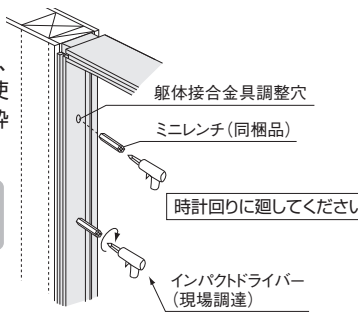
4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

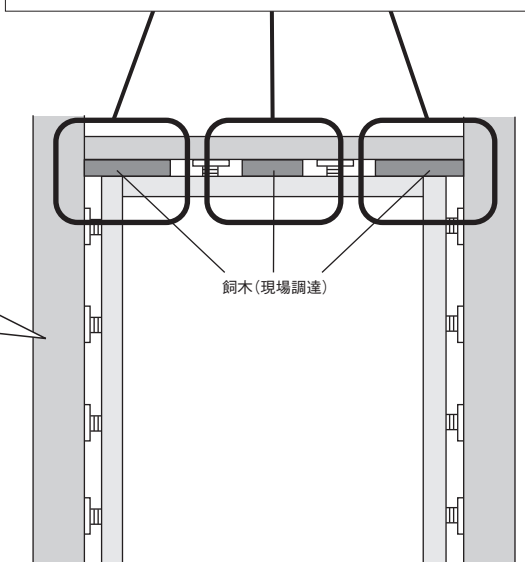


躯体接合金具調整穴
ミニレンチ(同梱品)
時計回りに廻してください
インパクトドライバー(現場調達)

注意 インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んで使用ください。

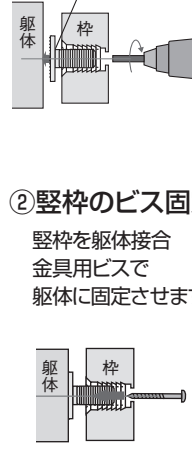
注意 ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



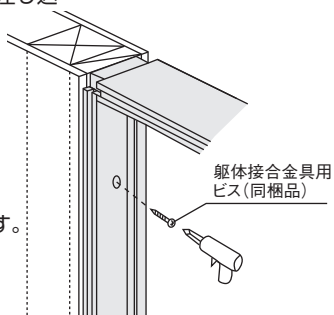
飼木(現場調達)

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



躯体 枠
躯体接合金具用ビス(同梱品)

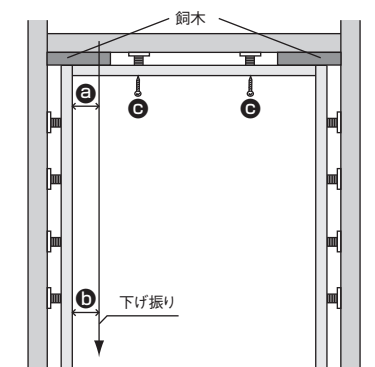


躯体接合金具調整穴
ミニレンチ(同梱品)
時計回りに廻してください
インパクトドライバー(現場調達)

5 建て付け調整と鴨居の本固定

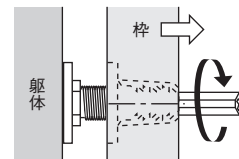
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a=b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



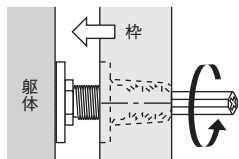
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

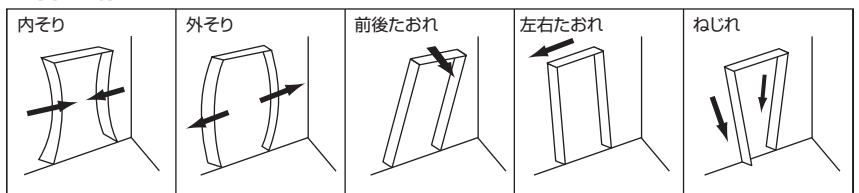


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

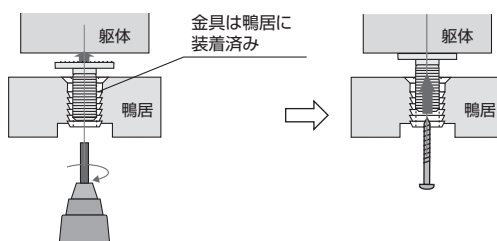


※ 下記の様なことがないようご注意ください。

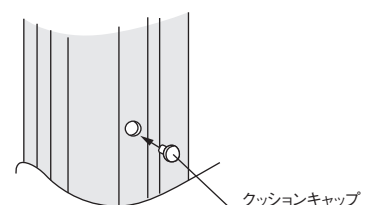


② **●**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

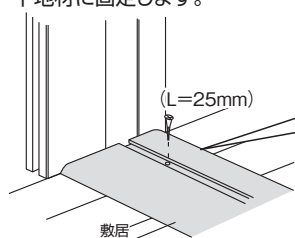


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

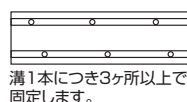
①敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス頭が残らないように
締め込む

敷居



溝1本につき3ヶ所以上で
固定します。

確認

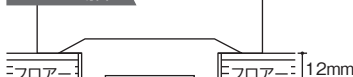
敷居を固定するビスは、
ビス頭が残らないように
確実に締め込んで、
木くず・ゴミなどを除去し、
平滑にしてください。

注意

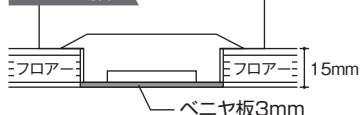
敷居はバリアフリー(埋め込み
施工)となります。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mm
フロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場
合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

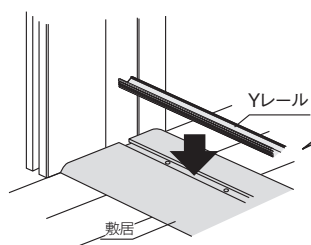
12mmの場合



15mmの場合

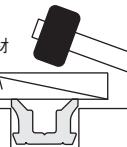


②レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意

アテ材



Yレールをはめ込む際には
必ずアテ材などを使用して、
ゴムハンマーでたたき込ん
でください。

※レールが完全に敷居に入っ
ていることを確認してください。



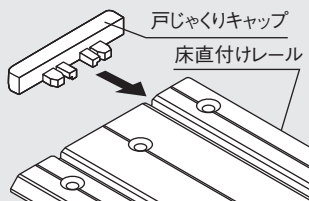
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

①戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの
端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

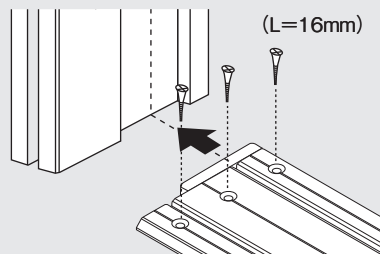


②床直付けレール取り付け位置の確認

戸じゃくりキャップ部分が、堅枠の戸当たり溝の位置
にきちんとはまるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴
からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂
直に固定されていなかったり、床直付けレールが
床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因と
なりますので注意してください。

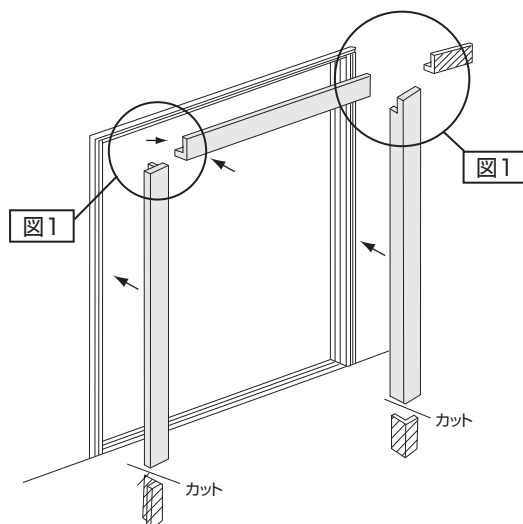
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

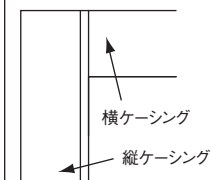
7 ケーシングの取り付け

■ケーシングの寸法を現場で
調整しカットしてください。
寸法を調整したケーシングを
木工用ボンド(現場調達)を使用し、
取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

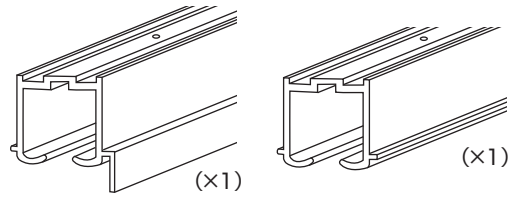


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

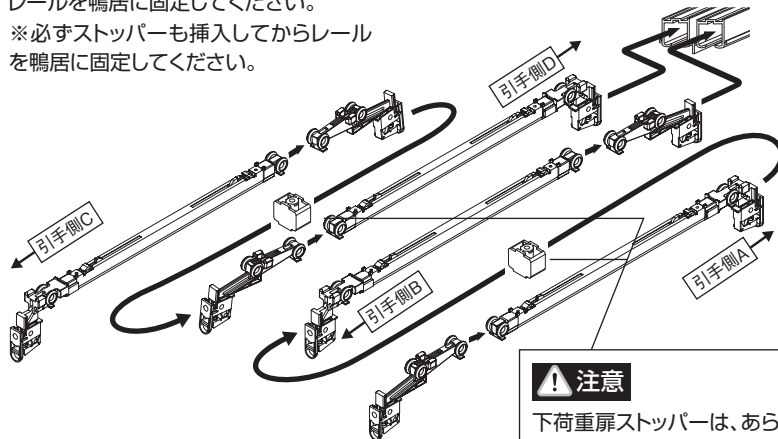
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

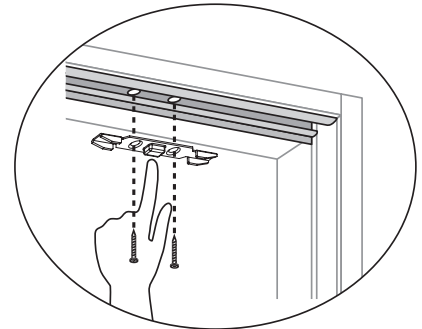
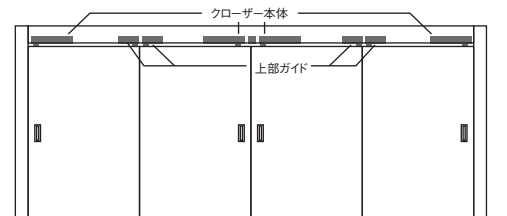
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。
※必ずストッパーも挿入してからレール
を鴨居に固定してください。



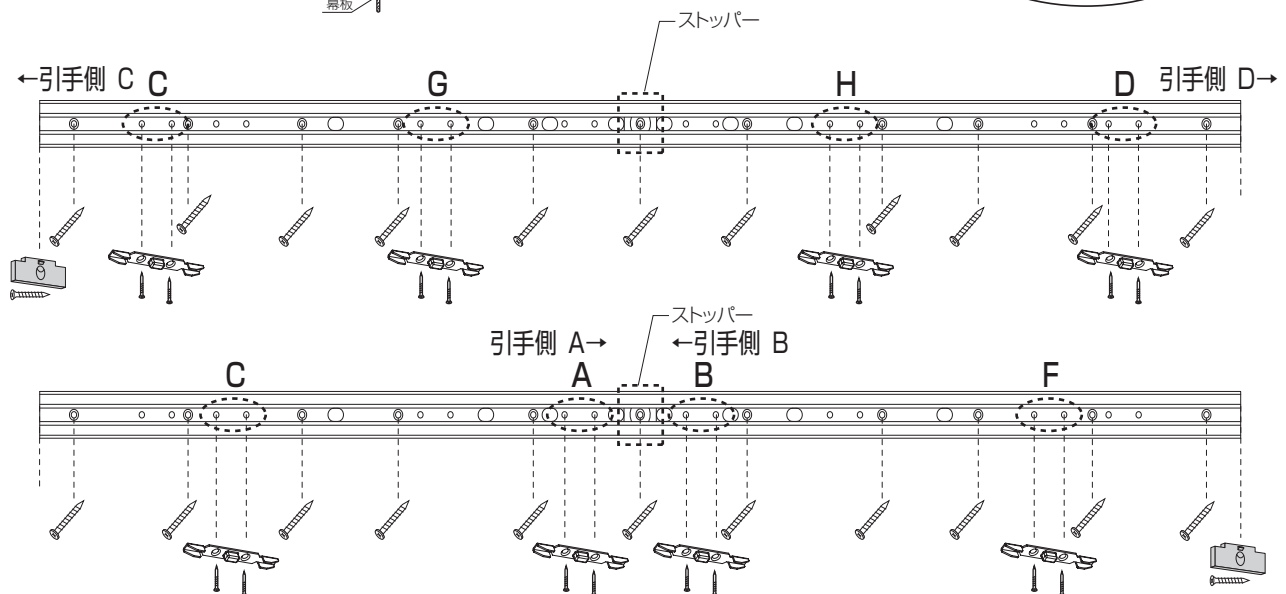
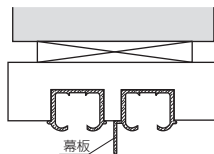
⚠ 注意

下荷重扉ストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

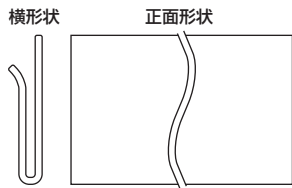
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

オプション

■幕板カバー



品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZYFM18-□	ZYFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

その際、図の様に半分の位置に貼り、残り半分は裏面へ折り返してください。幕板に貼りつけた後に剥離紙をはかしてください。

両面テープ 35mm 35mm 35mm 半分の位置 裏面へ折り返す

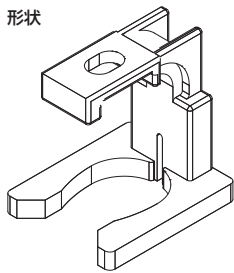
② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて両面テープにしっかり固定してください。

差し込む 押さえる 押さえる 押さえる

■戸尻側キャッチャー

3枚引き違い戸の片側ソフトクローズ(標準仕様)の戸尻側のレール端に取り付けます。

形状



品番	ZYNCT21
品名	戸尻側キャッチャー
備考	必要個数 片側ソフトクローズ:3個

取り付け方法

① キャッチャーをレール端に当てて、ビスで取り付ける位置を確認してください。

② レールに下穴を開けて同梱のビスで取り付けてください。

お願い

ビス打ち込みの際は、割れ防止のため、下穴を空けてください。

ビスの取り付けの留意点

ビスは同梱のビスを使用して取り付けてください。ビスで金具の固定を行う際は過大なトルクを発生させる工具は極力使用しないでください。強いトルクを発生させるインパクトドライバーを用いると、締め過ぎによるビスの空転や部材に割れが生じ、適切な固定できず、商品に悪影響を及ぼす原因となります。

